

水系を通じた外来水生動物の分布拡大と防除対策

期日：2021年12月19日（日）
1:30～5:00pm（受付1:00pm～）

会場：五泉市総合会館 会議室
新潟県五泉市旭町7（五泉高校正門前）

長野県・福島県から新潟県へと流れ下る二大河川、信濃川、阿賀野川、古来大量のサケやサクラマス・モクズガニなどが、日本海と往来していました。近年はダムや取水堰などによって、これら回遊性魚介類が減少する一方、問題ある外来水生動物が県境を越えて分布を広げ、生態系被害や漁業被害をおこしつつあります。三県の情報を共有し、対策のあり方を考えていきたいと思ひます。



会場で生体・標本を展示、
ボイルザリガニを用意します！

パネルディスカッション

阿賀野川水系の外来魚介類の現状

…ウチダザリガニとフクドジョウ…

- 阿賀川・川の達人の会 齋藤 昌廣 氏
- 日本自然環境専門学校 佐久間 昌孝 氏
- 生物多様性ネットワーク新潟 井上 信夫

- ・ウチダザリガニ：北アメリカ原産の特定外来生物。様々な水生小動物を捕食、北海道ではニホンザリガニを圧迫、マリモなどの水生植物を食害。
- ・フクドジョウ：北海道原産の国内外来種。環境適応能力、移動能力が高く、同じ水生昆虫食のカジカやアカザなどにとって大きな脅威。



千曲川・犀川の外来魚の現状と防除活動

…ブラウントラウト・コクチバス…

- 講師：片野 修 氏（元水産総合研究センター主幹研究員）

- ・ブラウントラウト：ヨーロッパ原産の産業管理外来種。攻撃性が強く、北海道では在来のサケ科魚類の生活を圧迫、甚大な被害を及ぼしている。信濃川中流、支川で増加中。
- ・コクチバス：北アメリカ原産の特定外来生物。様々な水生動物を捕食。先に侵入定着したオオクチバスを駆逐しながら増加中。信濃川下流、阿賀野川下流まで達している。



参加募集数50名 参加費無料

★新型コロナ対策のため、マスクの着用をお願いいたします

◆参加申込み、お問い合わせは下記事務局へ

◆参加申込みは12月15日(水)まで

(ボランティア保険加入のため、ご氏名・住所・電話番号をお知らせ下さい)

生物多様性ネットワーク新潟 naturewk@basil.ocn.ne.jp FAX：025-270-2010 電話：090-3063-3167

NPO法人五泉トゲソの会 togeso@beige.plala.or.jp FAX：0250-22-0271 電話：090-2235-3936

- 主催：生物多様性ネットワーク新潟 NPO法人五泉トゲソの会 東蒲自然同好会
- 共催：日本自然環境専門学校 NPO法人ねっとわーく福島潟 阿賀川・川の達人の会
- 後援：国土交通省阿賀野川河川事務所 国土交通省阿賀川河川事務所 環境省関東地方環境事務所
新潟県 五泉市教育委員会 阿賀町 新潟県内水面漁業協同組合連合会
新潟市水族館マリニピア日本海 アクアマリンいなわしろカワセミ水族館 NPO法人新潟水辺の会
全国ブラックバス防除市民ネットワーク 新潟県自然観察指導員の会

この活動は 公益財団法人 山口育英奨学会 の支援を受けて実施します

生物多様性シンポジウム2021の趣旨

新潟県には福島県阿賀川とつながる阿賀野川、長野県千曲川とつながる信濃川の二大河川が流れ、古来、水系を通じたサケやサクラマス、モクズガニなどの水生動物の往来がありました。近年は数多くのダムや取水堰で分断され、回遊性魚介類が減少した一方、侵略性の高い外来水生動物が水系を通じて分布域を拡大してきています。

阿賀野川と信濃川は、下流の新潟市で小阿賀野川を介して連続しており、用水路を通じて平野部に広く分流し、中小河川や湖沼とつながる広大な水域ネットワークを形成しています。将来的には、ウチダザリガニやフクドジョウなど阿賀川由来の外来種が信濃川水系へ、ブラウントラウトなど千曲川由来の外来種が阿賀野川水系に分布域を広げる可能性は否定できません。また、これに人為的な移植が加われば、その分布拡大のスピードはさらに速まるものと思われ、在来固有の水生動物に甚大な影響が及ぶものと懸念されます。これら侵略的外来種による生態系被害、漁業被害を防ぐため、早急な対策が求められます。

外来種対策は各県ごとに進められてはいるものの、対応は個々バラバラで日々分布域を拡大する侵略的外来種への対応が追いついていないのが実情です。このたびのシンポジウムでは、水系でつながる新潟県、福島県、長野県の外来種の動向、防除対策のあり方について、情報を共有していきたいと考えています。

